

# 資料展示 物語ぐんま

期間:平成17年1月26日(水)～3月6日(日) 場所:群馬県立図書館3階展示コーナー

群馬は多くの文学者を輩出し、多くの文学作品が生み出されていますが、それだけではなく、たくさんの物語の舞台ともなっています。そこで、今回の資料展示では、群馬を舞台にした作品や群馬にゆかりのある人物が主人公となっている作品をご覧ください。

なお、本展示は群馬県に関する作品について網羅的に紹介するものではありません。ここに掲載外の資料をお探しの場合は、あらためて検索してください。

詳細な調査、文献検索等のご相談は、2階調査相談室で受け付けております。

## 物語の中のぐんま

### ～近代文学の足あと～

- \* 1 「不如帰」(徳富蘆花集 3)  
徳富蘆花／著 日本図書センター 1999. 2  
1898年発表。伊香保温泉に始まる川島武男と片岡浪子の悲恋の物語。
- \* 2 「焚火」(志賀直哉全集 第3巻)  
志賀直哉／著 岩波書店 1999. 2  
1920年に発表された、作者の赤城山での生活を題材にした小説。
- \* 3 「姥捨」(名著初版本複製太宰治文学館〔5〕女生徒)  
太宰治／著 日本近代文学館 1992. 6  
1938年発表。谷川温泉で心中を図る夫婦の姿を描く。
- \* 4 「漂流記 ー大人のお伽話の世界に遊ぶ安吾移住記ー」(坂口安吾全集 12)  
坂口安吾／著 筑摩書房 1999. 1  
1952年に発表された、作者の桐生市への移住を題材にした小説。

### ～現代の作家たち～

- \* 5 「第七障害」(書名:イツ・オンリー・トーク)  
絲山秋子／著 文芸春秋 2004. 2  
馬術を辞めた女性が馬への思いを取り戻すまでを、群馬の風景を交えて描く。
- + 6 「渡良瀬川」  
大屋研一／著 三五館 1996. 5  
渡良瀬川沿岸に生活する人々を描く。
- + 7 「鮎になれ」(書名:四百歳の鮎)  
潮見三郎／著 つり人社 1995. 7  
片品川で鮎釣りをする釣り師と高校生との交流。
- + 8 「月夜野泪橋」(書名:月夜野泪橋 彼岸桜)  
島田國二三／著 シグマ・ブックス 1997. 3  
月夜野で行われた還暦同窓会に出席した男は、初恋のひとと再会する。
- + 9 「修羅の川」  
関口英沙恵／著 光文社 2003. 11  
上州佐位郡鳴村の蚕種屋の娘の恋と数奇な生涯。
- \* 10 「鳥たちの舞うとき」  
高木仁三郎／著 工作舎 2000. 11  
G県天楽谷のダム工事に絡む事件を支援する末期ガンの弁護士。
- + 11 「浅間」  
立松和平／著 新潮社 2003. 9  
天明の浅間焼けを題材に、大災害の中を生き抜く人々を描く。
- + 12 「回想の北軽井沢」  
竹淵和道／著 光陽出版社 1998. 8  
北軽井沢小学校に赴任した新任教師の一年間。
- + 13 「からっ風と涙」  
田村孟／著 TBSブリタニカ 1979. 7  
こんにやく問屋を舞台にした昭和54年放送のテレビドラマの小説化。
- + 14 「最後の尾瀬」

- 辻田新／著 清水弘文堂書房 1998. 4  
死の床で尾瀬に思いをはせる末期ガンの男。
- \* 15 「デュアル・ライフ」  
夏樹静子／著 毎日新聞社 1994. 11  
前橋にいたとき愛した女性を想う男の罪と罰。
- + 16 「空っ風」  
丹羽郁生／著 新日本出版社 1990. 12  
榛名山麓で農業を営む人々の姿を描く。
- + 17 「利根河原・少年の記」  
羽入田伸／著 碧天舎 2004. 8  
前橋に生まれ育った作者の少年期の思い出をもとに描いた創作小説集。
- + 18 「春駒のうた」  
宮川ひろ／著 偕成社 1971. 3  
利根郡東村の千鳥分校に着任した女教師と足の不自由な少年との交流。
- 19 「スローカーブを、もう一球」  
山際淳司／著 角川書店 1986. 6  
1980年の県立高崎高校野球部の活躍。
- + 20 「沈まぬ太陽 3 御巢鷹山篇」  
山崎豊子／著 新潮社 1999. 7  
航空機事故の遺族係を命じられた男の苦悩。
- + 21 「赤城南麓風狂譚」  
横山敏司／著 作品社 1985. 2  
赤城南麓の町村を舞台に描いた作者の少年期の残像。
- + 22 「クライマーズ・ハイ」  
横山秀夫／著 文芸春秋 2003. 8  
日航機事故に翻弄される地方新聞の記者たち。

#### ～ミステリー小説の世界～

- + 23 「尾瀬殺人湿原」  
梓林太郎／著 光文社 1988. 5  
尾瀬の大湿原を舞台に繰り広げられる事件。
- + 24 「旧中山道新町宿連続殺人事件一謎の言葉[於菊怨]が過去を語る」  
一柳一男／著 文芸社 2001. 4  
於菊稲荷神社に由来する謎と事件。
- + 25 「伊香保殺人事件」  
内田康夫／著 講談社 2003. 6  
伊香保を訪れた浅見光彦は事件に遭遇する。
- + 26 「殺人者は長く眠る 草軽電鉄女優失踪事件」  
梶竜雄／著 中央公論社 1983. 11  
草軽電鉄で失踪した女優の肖像画をきっかけに起きた事件。
- + 27 「草津高原殺人事件」  
木谷恭介／著 広済堂出版 2001. 4  
草津周辺で起きた事件を解決する所轄署刑事の活躍。
- + 28 「月に吠えろ！ 萩原朔太郎の事件簿」  
鯨統一郎／著 徳間書店 2003. 9  
探偵萩原朔太郎が七つの不可解事件に挑む。
- 29 「黄金の鍵」  
高木彬光／著 光文社 1970. 11  
東京・安中・軽井沢を結ぶ事件に絡む小栗上野介の秘宝の謎。
- + 30 「上州・湯煙列車殺人号」  
辻真先／著 光文社 2004. 3  
四万温泉の制作したイベント列車内で事件は起きた。
- 31 「逆流の殺意 水上着11時23分の死者」  
津村秀介／著 講談社 1997. 5  
水上温泉と大阪・蛍池で同じ日に起きた事件の謎。
- + 32 「風少女」  
樋口有介／著 文芸春秋 1990. 1  
故郷前橋でかつて好きだった女性の死の謎を追う男。
- 33 「若山牧水・暮坂峠の殺人」  
真鍋繁樹／著 講談社 1995. 9  
殺人犯に間違えられた若山牧水が難事件に挑む。
- \* 34 「人間の証明」  
森村誠一／著 角川書店 1976  
殺された黒人青年はなぜ霧積高原へ行きたかったのか。

- +35 「霧積温泉殺人事件」  
吉村達也／著 実業之日本社 2003. 6  
家族旅行で訪れた霧積温泉で遭遇した事件に挑む警部。

～その他の小説と資料～

- +36 群馬文学全集 第15巻 群馬ゆかりの歌句小説  
伊藤信吉／監修 群馬県立土屋文明記念文学館 2001. 3  
+37 群馬文学全集 第16巻 群馬ゆかりの詩歌小説  
伊藤信吉／監修 群馬県立土屋文明記念文学館 2000. 3  
\* 38 近代名作のふるさと 東日本篇  
長谷川泉／編 至文堂 1991

## 群馬ゆかりの人びと

～歴史・時代小説を中心に～

### 新田義貞(?～1338)

鎌倉末期から南北朝動乱期の武将。幕府追討の令旨を受け挙兵、鎌倉に攻め入り、幕府の滅亡に尽力する。のちに足利尊氏と対立し、北陸で戦死する。

- +39 「新田義貞 上巻」  
新田次郎／著 新潮社 1978. 4  
+40 「新田義貞 下巻」  
新田次郎／著 新潮社 1978. 5  
41 「私本太平記」(吉川英治全集 42)  
吉川英治／著 吉川英明／責任編集 講談社 1981. 5

### 上泉秀綱(信綱)(生没年不詳)

戦国時代の剣客。神陰流の祖にして剣聖と称される。現在の前橋市上泉町に生まれる。関東管領上杉氏、箕輪城主長野氏に仕えた後、上洛。柳生宗厳に神陰流の秘奥を伝授する。

- +42 「真剣 新陰流を創った男、上泉伊勢守信綱」  
海道竜一郎／著 実業之日本社 2003. 10

### 真田信幸(信之)(1566～1658)

戦国期の武将。初代沼田城主。関ヶ原の戦いでは父昌幸、弟幸村らと別れ、徳川方に付く。大坂の陣にも参戦し功を残す。

- \* 43 「化粧槍とんぼ切り」  
森雅裕／著 集英社 2000. 3  
\* 44 「真田太平記 1 天魔の夏」  
池波正太郎／著 朝日新聞社 1980  
\* 45 「真田太平記 4 甲賀問答」  
池波正太郎／著 朝日新聞社 1980

### 河村瑞賢(1618～1699)

江戸前期の豪商。海運、治水等に多くの業績を残す。沼田藩に乞われて用水路の普請に尽力する。

- \* 46 「大欲 小説河村瑞賢」  
峯崎淳／著 講談社 2001. 12

### 織田信邦(1745～1783)

小幡藩8代藩主。藩祖は織田信雄(信長の次男)。上席家老吉田玄蕃が幕政批判を理由に処刑された山県大弼と親交が厚かったことから、連座し蟄居処分を受ける。

- +47 「風乱 小幡藩明和事件考」  
田村貞男／著 上毛新聞社出版局 2002. 11

### 木枯し紋次郎

笹沢佐保の創作した、新田郡三日月村生まれの渡世人。中村敦夫主演でドラマ、映画になり好評を博す。

- 48 「新・木枯し紋次郎」  
笹沢左保／著 講談社 1988. 9

### 千葉周作(1794～1855)

江戸末期の剣客、北辰一刀流の開祖。武者修行のため上州に来訪し、多くの門人を取る。伊香保明神への武道額奉納をめぐり、馬庭念流と衝突する。

- \* 49 「北斗の人」(司馬遼太郎全集 12)  
司馬遼太郎／著 文芸春秋 1977

- 50 「馬庭念流」  
前沢辰雄／著 前沢辰雄 1969

**高野長英(1804～1851)**

江戸末期の蘭学者・医師。長崎でシーボルトに西洋医学を学ぶ。後に吾妻沢渡温泉にて、多くの弟子を取る。

- +51 「長英逃亡 上」  
吉村昭／著 毎日新聞社 1984. 9  
+52 「長英逃亡 下」  
吉村昭／著 毎日新聞社 1984. 10

**岩松(新田)俊純(1829～1894)**

幕末の武家、のち男爵。新田郡下田島村生まれ。新田勤王党の首領に推されたが、党员は投獄、自身は謹慎処分になる。明治に入り男爵の位を授かる。

- +53 「猫男爵 パロン・キャット」  
神坂次郎／著 小学館 2002. 10

**田中正造(1841～1913)**

明治時代の政治家・社会運動家。足尾銅山鉱毒事件で渡良瀬川沿岸農民の側に立ち、政府や鉱山主とたたかう。

- 54 「辛酸」  
城山三郎／著 中央公論社 1979. 2

**高橋お伝(1848～1879)**

本名でん。現在の月夜野町に生まれる。知人を殺害した罪で刑死。後に演劇や小説の題材となり、毒婦に仕立て上げられた。

- 55 「高橋阿伝夜叉譚 初編」  
仮名垣魯文／著 守川周重／画 伊東専三 金松堂 1879  
56 「高橋阿伝夜叉譚 第2編」  
仮名垣魯文／著 守川周重／画 伊東専三 金松堂 1879  
57 「高橋阿伝夜叉譚 第3編」  
仮名垣魯文／著 守川周重／画 伊東専三 金松堂 1879  
58 「高橋阿伝夜叉譚 第4編」  
仮名垣魯文／著 守川周重／画 伊東専三 金松堂 1879  
59 「高橋阿伝夜叉譚 第5編」  
仮名垣魯文／著 守川周重／画 伊東専三 金松堂 1879  
60 「高橋阿伝夜叉譚 第6編」  
仮名垣魯文／著 守川周重／画 伊東専三 金松堂 1879  
61 「高橋阿伝夜叉譚 第7編」  
仮名垣魯文／著 守川周重／画 伊東専三 金松堂 1879  
62 「高橋阿伝夜叉譚 第8編」  
仮名垣魯文／著 守川周重／画 伊東専三 金松堂 1879

**ブルーノ・タウト(1880～1938)**

ドイツの建築家。ナチスドイツを嫌い、来日する。高崎の少林山達磨寺の洗心亭に滞在し、日本建築の研究等をする。

- \*63 「達磨寺のドイツ人」(全集黒沢明 第1巻)  
黒沢明／著 岩波書店 1987. 11  
64 「ブルーノ・タウトの回想」  
浦野芳雄／著 長崎書店 1940

**萩原朔太郎(1886～1942)**

大正から昭和の詩人。旧制前橋中卒業。北原白秋に傾倒し、詩作を始める。また、「上毛マンドリン倶楽部」を組織し、演奏活動を行う。

- +65 「廣りゆく天使」  
夢枕獏／著 文芸春秋 2000. 10

## ぐんまの言い伝え

### ～民話と伝説の数々～

- +66 群馬県の民話 (県別ふるさとの民話 16)  
日本児童文学者協会／編 偕成社 1979. 11  
67 おはなし群馬の民話  
後藤博子、高井恵子／文 北島新平／絵 あかぎ出版 1992. 6

- +68 **群馬のむかし話 改訂版**  
群馬昔ばなし研究会／編 日本標準 1988. 9
- +69 **ぐんまのむかしばなし**  
群馬の昔話刊行会／編 上毛新聞社 1989. 6
- +70 **群馬の伝説**  
群馬の伝説研究会／編 日本標準 1980. 6
- +71 **上州の伝説（日本の伝説）**  
都丸十九一／〔ほか〕著 角川書店 1978
- +72 **前橋とその周辺の民話**  
酒井正保／著 群馬県文化事業振興会 1983. 4
- +73 **赤城南面の史話と伝説**  
橋田友治／著 細谷印刷出版部 1984. 9
- +74 **榛名町の伝説**  
樋口秀次郎／編著 榛名町広報委員会 1981. 11
- +75 **上州新治の民話（語りによる日本の民話 3）**  
持谷靖子／編著 国土社 1987. 8
- +76 **上州猿ヶ京の民話**  
三国路紀行文学館／編 国土社 1988. 7
- +77 **ぐんまおくとねむかしばなし**  
笛木紫泉／著 笛木哲／絵 群馬出版センター 1991
- +78 **奥利根の詩と民話**  
おのちゆうこう／著 崙書房 1974
- +79 **湯のくにむかしむかし みなかみ温泉郷**  
青柳千年／著 アトリエとまと 1988. 11
- +80 **湯のくにむかしむかし かわば温泉郷**  
青柳千年／著 アトリエとまと 1989. 3
- +81 **おらがあ村の昔ばなし**  
利根村教育委員会／編 アドファイブ出版局 1986. 9
- +82 **絵本で読む尾瀬地方の伝説**  
波戸場秀幸／文 田の内栄一／きりえ 煥乎堂 1990
- 83 **泣いてしまった鬼**  
片山貞一／絵・文 片山貞一 1996. 2

☆展示資料について

展示資料のうち、「+」記号の付いたものと無印のものは郷土資料です。  
通常は2階調査相談室の郷土資料コーナーにあり、いつでも閲覧できます。  
また、「\*」記号の付いた資料は一般資料で、通常は貸出可能です。  
どうぞご利用ください。  
なお、番号の前に「+」記号の付いた資料には貸出のできるものがあります。  
展示期間中でもご利用いただけます。また、展示資料の中には、同一の作品で  
版の異なるもの等を所蔵しているものがあります。検索してご確認ください。